

人づくり まちづくり 情報誌

あくていぶ

No.

68

平成30年(2018)

9月15日号

創設10周年記念号



わがまちたかつき
切り絵紀行

「神峯山寺」

切り絵 作：生地 高芳(高槻市在住)

特集

高槻市人権まちづくり協会
創設10周年記念特集

「あくていぶ」は行動的、活動的な心と心のふれあいを求めて名づけられました

ご挨拶



一般社団法人高槻市人権まちづくり協会
代表理事 山本 政行

はじめに、今般6月18日に発生しました大阪北部を震源地とする地震で被害にあわれた方々に、心からお見舞いを申し上げます。

高槻市人権まちづくり協会は、平成20（2008）年4月5日に既存の人権5団体と行政の参加のもと、市民の視点に立って差別解消を図る団体として発足し、翌平成21年4月には一般社団法人として法人格を得て、本年、10周年という節目を迎えることが出来ました。

この間、当協会が人権啓発事業をはじめ各種事業の充実に寄与することができましたのも、市民の皆様方をはじめ行政等の関係機関のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当協会は、地域に密着した市民主体の活動をねらいとして、中学校校区に単位会を置き会員を核として地域の方々の参画のもと事業を推進してまいりました。当初、13中学校区単位会・会員300名でしたが、今日15中学校区単位会、会員1,900人となっており、今後とも会員の輪を広げる中で、人権の尊さ・大切さを学びながら市民の力で、人づくり・まちづくりを目指して参ります。

創設10周年を契機として「誰もが安心して暮らせる人権のまちづくり」を目指し、障がい者、在日外国人、部落差別をはじめ解消すべき様々な人権課題に対して、当協会の果たすべき役割を見据えながら役員並びに職員一同、各種事業のさらなる充実に全力で取り組んでまいる所存でございます。

高槻市をはじめ、市民、関係団体の皆様方のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝ご多幸、ご活躍をお祈り申し上げまして挨拶といたします。

創設10周年を祝して

～市民の力で ひとづくり まちづくり～

一般社団法人高槻市人権まちづくり協会

顧問 藪 重彦



一般社団法人高槻市人権まちづくり協会が、創設10周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

私は、平成20年4月の当協会の創設にかかわった一人として協会の歩みを振り返りますと、当時市内には従来から市民レベルで人権啓発を推進している5団体として、それぞれが単独で活動していましたが、今後、多種多様化する人権問題に対し、我々はいかにあるべきかとの課題に直面しておりました。

そこで、行政と市民との役割を明確にし、市民主導での啓発、相談活動などを市全体で取り組むことが改めて必要だと認識し、それぞれの団体が自らの組織に拘らず、今まで養った実績とノウハウを生かして、行政と市民との役割を明確にし、市民主導での啓発、相談活動などを市全体で取り組むことが改めて必要だと認識し、それぞれの団体が自らの組織に拘らず、今まで養った実績とノウハウを生かして、

かし、より一層草の根市民活動を基本に、地域一体となつて浸透させていくべきとの結論に至ったのでした。こうした考えのもとに当協会は創設されました。

最後にありますが、高槻市人権まちづくり協会の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



高槻市人権まちづくり協会 創設10周年

お祝いのことば

高槻市長
濱田 剛史

高槻市人権まちづくり協会が記念すべき創設10周年の節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴会は、平成20年4月に、市内5つの人権市民団体が各々の実績や経験をひとつに集結され、新たに高槻市人権まちづくり協会として創設されました。以来、10年もの長きに亘り、市民自らがそれぞれの立場や目線で人権問題の解決を目指して活動を実践してこられましたことは、歴代役員様をはじめ、会員の皆様方の献身的なご努力によるものと深く敬意を表する次第でございます。

さて、近年の人権を取り巻く状況を見ますと、社会情勢や地域を取り巻く環境が年々複雑多様化する中、従来からの人権問題の多様化、また、様々な格差による貧困問題や、インターネットを悪用した人権侵害等の新たな人権課題が発生するなど、憂慮しているところでございます。

これらの人権課題を解消し、すべての市民が互いを尊重する社会を実現するためには、市民はもとより、地区コミュニティ組織、学校、企業、NPO等などとの連携・協働を通じて、社会全体で人権問題に取り組んでいくことが求められます。

貴会におかれましては、各中学校区地区単位会を中心に日頃から地域の団体等と連携し、啓発の裾野を広げられ、市民ニーズに沿った幅広い講座の開催や相談体制の構築が行われるなど、地域に根ざした活動にご尽力いただいております。今後とも積極的な活動を展開されますことをご期待申し上げます。

本市といたしましても、「高槻市人権施策推進計画」に基づき、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしく、いきいきと暮らせる社会の実現を目指し、貴会をはじめとする関係機関・団体の皆様との連携を一層深め、効果的な人権施策の推進を図ってまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後益々のご発展と運営にご尽力いただいております皆様方のご健勝・ご多幸を心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



高槻市人権まちづくり協会 10周年記念祝辞

高槻市議会議員長
福井 浩二

高槻市人権まちづくり協会の創設10周年記念誌を発行されますこと、心よりお慶び申し上げます。平素より様々な人権活動に取り組み、人権尊重の社会環境づくりに、ご尽力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

現代におきましては、これまでの人権問題に加え、社会環境の急速な進展に伴い、その状況は著しく変化しており、昨今、インターネットやSNS等を利用した悪質な人権侵害や、子どもや高齢者に対する虐待等が大きな社会問題となっており、様々な人権侵害に対する取り組み、人権意識の確立が急務です。

市議会としましても、心豊かな社会の実現をめざし、人権擁護とあらゆる差別をなくすため、人権施策の推進に取り組んでまいります。

皆様方には、今後とも、差別や偏見のない高槻市の実現のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展をご祈念申し上げまして、ご祝辞とさせていただきます。



高槻市人権まちづくり協会 創設10周年を祝して

高槻市教育委員会 教育長
樽井 弘三

一般社団法人高槻市人権まちづくり協会が創設10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

創設以来、全ての人の人権が尊重される心豊かな社会の実現に向けご尽力されてこられましたことに、深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、人権課題も複雑化しています。子どもたちの「自分を大切にし、相手を思いやる心」を育むためには、人権に関する基本的な知識を学び深化させる知的理解と、人権の重要性を直感的に受け止める人権感覚を養うことが大切です。こうした中、様々な人権学習の機会を提供いただいている貴協会の果たす役割は、今後一層重要性を増すものと考えております。

教育委員会といたしましても、引き続き子どもたちが「ともに学び、ともに育つ」人権教育の推進に努めてまいりますので、よろしくようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創設10周年を祝して



社会福祉法人
高槻市社会福祉協議会 会長
倉橋 隆男

高槻市人権まちづくり協会創設十周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、中学校区を単位として人権草の根活動を展開し、啓発講座や平和展を開催し、市民啓発に努め人権課題の解消に積極的に取り組んでこられましたことに敬意を表する次第です。

本協議会でも、誰もが、夢を育み、安心して暮らせる自治と共生のまちづくりを推進してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

人権尊重の ひとつづくり・まちづくりを祈念



高槻地区人権推進員
企業連絡会 会長
堀畑 太

高槻市人権まちづくり協会が創設10周年を迎えられたことに心よりお祝いを申し上げます。

2008年の創設以来、歴代の代表理事をはじめ、役員並びに会員の皆様が、あらゆる人権課題の解決に向けた啓発活動と人権施策の推進を積極的に展開されてきたことに対し、深く敬意を表する次第です。

弊連絡会としましても、今後も貴協会との連携を深めつつ、人権問題の解決に向けた活動を継続して参る所存でございます。貴協会の益々の発展とご活躍を祈念し、お祝いの言葉と致します。

10周年記念にあたって



高槻市障害児者団体連絡協議会
会長
伊藤 義治

一般社団法人高槻市人権まちづくり協会が創設10周年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

すべての人の人権が尊重され、心豊かな社会の実現に向けて取り組んでこられた貴協会の活動に深く感謝申し上げます。身近な社会では障害者への差別、男女の差別、子供の貧困、人種間の差別、LGBTなど差別・偏見と人権侵害の課題は山積し、貴協会の活動が期待されるところであります。

貴協会の益々のご発展をお祈りしてお祝いの言葉とさせていただきます。

「思いやりの心と幸せな生き方」 を求めた十年



三島人権擁護委員協議会
高槻地区委員会 会長
五十島 順子

高槻市人権まちづくり協会創設十周年を心よりお慶び申し上げます。

「市民の力で 人づくり まちづくり」の精神のもと、この10年、地域に密着した人権尊重の社会環境づくりに、地道な活動を積み上げてこられました。

平和展をはじめ、人権作品コンテストや人権連続講座・その他の多彩な事業を通して、子どもから大人まで多くの人に豊かな心を育み、思いやりの心と幸せな生き方を根付かせたのではないかと思います。

今後も、人権啓発活動の推進を通して、違いを認め、多様な生き方が尊重される社会の変化に対応した学びの場をご提供いただきますとともに、人権まちづくり協会の益々の発展をご祈念申し上げます。

創設10周年 を迎えて



以前人権市民団体の活動は、それぞれの持ち場で様々な取り組みをし、人権啓発の推進に多大な功績を残していました。一方その運営は市の補助金などに支えられており、行政の関与が大きく、組織の自立や発展的継続など、市民の自主的自立的な活動において課題が散在していました。また、団体間で事業の重複や実施にあたり連携が十分とは言えない状況がありました。

この状況を打開すべく、平成20（2008）年4月、市内の主な人権市民団体（高槻市人権啓発推進協議会、高槻市人権富田地域協議会、高槻市人権春日地域協議会、富田・赤大路地域人権教育推進会議、城南中学校区人権教育推進協議会）がより主体的・自立的な活動を行うため、発展的解消を図り、新たな団体として「高槻市人権まちづくり協会」を設立しました。平成21（2009）年4月には一般社団法人登録を行い、現在は「一般社団法人 高槻市人権まちづくり協会」として活動を行っています。

「高槻から世界へ 人にやさしいまちづくり」

「一人ひとりの人権が尊重され、だれもが自分らしく安心して暮らすことができる人にやさしいまちづくり」

当法人は、市民の自主的な活動を基に、高槻市におけるあらゆる人権問題解決のための啓発活動などを行うとともに、市の人権施策に協力し、差別のないすべての人の人権が尊重される心豊かな社会の実現に資することを目的とし次の事業を行います。

- ① 人権意識の普及・高揚を図るための教育、啓発及び人権に関わる人材育成
- ② さまざまな課題を有する人々に対する相談及び自立支援
- ③ 高槻市等からの委託を受けて実施する人権施策を推進する事業
- ④ 人権尊重の社会づくりをめざす市民及びボランティア並びに特定非営利活動法人等との連携及び支援、協力
- ⑤ 人権問題に関わる調査、研究
- ⑥ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

今後の方向性

元来、人権課題解決にかかる事業は行政が果たすべき主要事業であり、同時に課題解決に向けては、市民の理解を得ながら取り組まなければならない事業であります。こうした意味で市民や民間組織と行政を結ぶべく創設され、今日まで様々な事業を展開してきた高槻市人権まちづくり協会の役割は大きなものがあります。また、行政が様々な人権関係団体に行ってきた経済的、人的支援を高槻市人権まちづくり協会に業務を集約したことで合理化が図られたことも行財政改革の観点から大きな成果となりました。

創設10年を契機に人権草の根運動の主体である個人市民会員の方々とともに、新たに団体・企業の賛同を得ながら時代の要請に従い連携を深めながら、人権啓発活動を展開していきます。

具体的には、行政との連携の下で、これまで実施してきたイベントでの啓発活動、学習活動、地域連携活動、人権相談事業などに、より一層創意工夫を加えて充実したものとしてまいります。また、団体・企業の皆様には高槻市人権まちづくり協会の存在意義を理解し賛助会員として加入いただき、こうした収入による新たな事業の実施に努めてまいります。

今日、国の垣根をなくす取り組みや、国籍、性、年齢、障がいにかかわらず多様性のある人材活用が求められるとされてきましたが、現に逆行するような多くの事案や課題を見るにつけ、到底、人権を大切にする社会を実現したとは言えない状況です。原点に立ち返り、中学校区単位会の「人権草の根運動」を一層推進し、人権のまちづくりに努めることが、高槻市人権まちづくり協会の果たすべき基本的役割と考えております。「一人ひとりの人権が尊重され、だれもが自分らしく安心して暮らすことができる人にやさしいまちづくり」これが高槻市人権まちづくり協会の使命です。

一人ひとりの人権を大切に まちづくりをめざして

高槻市人権まちづくり協会は高槻市から委託をうけ、
人権講演会、平和展、人権週間記念事業、地域人権啓発事業、人権連続講座、
地域活性化事業、地域啓発交流事業、人権リーダー育成事業、
また高槻市教育委員会から委託を受け、人権教育講座、人権映画会の企画、運営を行いました。

人権講演会「心の豊かさを求めて」

人権問題、平和問題、環境問題など、
幅広い視点から様々な人権課題を学ぶ場として人権講演会を開催し、
人権課題を理解することにより自らの人生に広がり生まれ、心豊かになるよう取り組んできました。

- 平成20年度 「夢見る力を信じて ～盲導犬グレースとともに～」
- 平成21年度 「内なる多文化」
- 平成22年度 「人生あきらめたらあかん」
- 平成23年度 「出会いに感謝 ～光のステージ～」
- 平成24年度 「共に生きていこうとする気持ち」
- 平成25年度 「生きているだけで価値がある」
- 平成26年度 「大笑いセッションでノーマライゼーション」
- 平成27年度 「からだを作るのがごはんなら ころろを作るのは何だろう…？」 楽しく歌うふうふ♪ ケチャップマヨネーズさん
- 平成28年度 「へだたりのない豊かな地域の暮らし」
- 平成29年度 「女らしくなく 男らしくなく 自分らしく」
- 平成30年度 「聴覚障がいのをりこえ夢と感動を伝える」

- 全盲ピアニスト 前川 裕美さん
- アイヌの語り部 アシリレラさん
- ゴスペルシンガー 市岡 裕子さん
- 難病と闘う奏者 エスペランザさん
- サイン(手話)シンガーソングライター 渡辺 ねりこさん
- シンガーソングライター 松田 陽子さん
- 全盲の落語家 桂 福点さん
- 学校心理士・アルパ奏者 上之山 幸代さん
- 落語家 露の団姫さん 太神楽曲芸師 豊来家大治朗さん
- デフマジシャン ミスターかわづさん

平成20年
「夢見る力を信じて」



平成29年
「女らしくなく 男らしくなく 自分らしく」

平和展

原爆の恐ろしさや、戦争の悲惨さ、
平和の尊さを訴え、
その思いを次世代へ継承し、非核平和の精神が多くの市民に定着していくことを願い、
毎年8月に開催しました。

- 平成20年度 地域紛争下の子どもたち
- 平成21年度 非核
- 平成22年度 戦争は最大の人権侵害 ～平和の大切さを訴え続ける～ **特別展「原爆と人間展」**
- 平成23年度 戦場からの手紙 ～家族の愛～
- 平成24年度 次世代に語り 伝えていく平和 **特別展「戦争と高槻 ～少年少女が見た世界～」**
- 平成25年度 わたしたちは生きている ～ヒロシマ・ナガサキからのメッセージ～
- 平成26年度 私たちがつくる平和を子どもへ ～核兵器のない平和な世界を目指して～
特別展「高槻での平和への取り組み」
- 平成27年度 ぼくは戦争がきらいです ～平和な願いを言葉でつなぐ～
特別展「ぼくは戦争がきらい ～やなせたかしの平和への思い～」
- 平成28年度 世界へとどけ 平和をつなぐ あたたかいところ **特別展「あの日」から未来へ**
- 平成29年度 平和ってなんだろう？ **特別展「いま子どもたちに伝えたい」戦争とくらし**
- 平成30年度 平和な世界を願って **特別展「いのちについて考える～戦時中の動物たち～」**

平成28年
ロビーコンサート
手話でコーラス



平成23年 音楽祭
「愛・いのち・平和」



平和展企画委員会
委員長 日高 栄さん

戦中食コーナーでたくさんの方の市民の方に体験していただくのが一番の思い出。毎年暑い中多くの来場者が平和展に足を運んでいただけることに感謝しています。

語り継ぐ戦争と平和

平成24年
戦中食試食コーナー
「だんご汁」



人権週間記念事業

人権週間(12月4日～10日)にあわせて、人権の意義や重要性について考え、人権課題への理解を深める場として、広く市民から人権啓発作品の募集を行うとともに、街頭啓発活動や「人権を考える市民のつどい」を開催し、市民の人権意識の高揚を図ってきました。

- 平成20年度 今を生きる
- 平成21年度 世界の人権侵害を知ろう
- 平成22年度 心豊かな社会の実現へ
- 平成23年度 子どもの声が聞こえていますか
- 平成24年度 高齢者虐待と地域での支えあい
- 平成25年度 いのちについて考える
- 平成26年度 あなたのしあわせって なに？
- 平成27年度 笑顔～人とのつながり 家族のカタチ～
- 平成28年度 未来へ！心の笑顔を伝えよう 想いをかたちに
- 平成29年度 笑顔でつながる私たち



平成21年 イーデスハンソンさん
「つぶしのきく人間になろう」



平成28年
キャスター 清水 健さん
「大切な人の想いとともに」



人権週間企画委員会
委員長 高尾 明美さん

一番印象に残っているのは、人権啓発作品の審査会です。毎年皆様から寄せられる創意工夫された作品を見ていると元気が出ます。応募数も年を追うごとに増え、人権意識の広がりを実感しています。



平成29年度絵画の部 最優秀作品

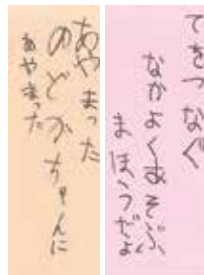
平成23年度
絵画の部 優秀作品



平成21年度
絵画の部
最優秀作品



平成22年度作品 審査会



平成23年度
標語の部 優秀作品

地域人権啓発事業

学校、PTA、公民館、コミュニティセンター、企業などの地域社会において人権学習、人権研修を支援し、ともに学ぶ場を提供するため、人権啓発指導員を派遣、要望に応じて専門の外部講師をコーディネートするとともに、中学校区地区単位会の事業運営に協力し、地域住民の人権意識の高揚を図りました。



ふれあいアップ 露の団六さん
「断家が考える人権～ダウン症のアニキをもって～」

城南中学校区の小中学生、教職員とともに自分たちの街を好きになる事業「アートフルタウン」



人権連続講座

子ども、性、障がい者、外国人、高齢者、同和問題や社会状況の変化に伴う新たな人権課題などを学習する場として系統的な連続講座を開催しました。(10月の毎週金曜日、計5回開催)

地域啓発交流事業（ヒューマンライツフェスタ、フェスタ・ヒューマンライツ）

富田・春日両ふれあい文化センターを拠点に、市内全域から市民団体、障がい者支援施設、福祉団体、関係施設等をもって実行委員会を組織し、8月に春日地域でヒューマンライツフェスタを、12月に富田地域でフェスタ・ヒューマンライツを開催しました。



平成20年
春日ヒューマンライツフェスタ



平成22年
富田フェスタ・ヒューマンライツ



人権リーダー育成事業

高槻市において地域に密着した人権啓発活動を行うために、中心的な役割を果たす人材や地域での活動を指導できる人材（人権リーダー）の養成を図りました。

- 平成20年度 渡来人歴史館（大津市）
- 平成21年度 川村義肢（株）（大東市）、水平社（奈良市）、北淡震災記念公園（淡路市）
- 平成22年度 北芝まちづくり協会（箕面市）、三重県人権センター（津市）
- 平成23年度 オムロン太陽の家（京都市）、耳塚（京都市）、稲むらの火の館（和歌山県広川町）
- 平成24年度 太陽公園（姫路市）、とよなか国際交流会館（豊中市）
- 平成25年度 滋賀県平和祈念館（東近江市）、リパティ大阪・津波高潮ステーション（大阪市）、雨森芳洲庵（長浜市）
- 平成26年度 広島平和公園（広島市）、視覚障害者総合福祉施設京都ライトハウス（京都市）
- 平成27年度 敦賀ムゼウム（敦賀市）、京都東山人権フィールドワーク（京都市）
- 平成28年度 ツラッティ千本（京都市）、舩松人権歴史館（堺市）、鶴野飛行場（加西市）
- 平成29年度 平和資料館（姫路市）、京都中書島人権フィールドワーク（京都市）、京都市防災センター（京都市）
- 平成30年度 震災資料保管庫（神戸市）



平成27年 敦賀ムゼウム



平成23年 稲むらの火の館



平成28年 ツラッティ千本



平成29年 姫路平和資料館

人権教育講座、人権映画会

社会の急激な変化に対応し、心身ともに健康で人間性豊かな生活を営むために子育て、平和、人権、男女共同参画、国際理解などの現代的な課題のテーマを正しく認識し、豊かな人権感覚を養うことを目的に実施してきました。



平成28年
「妖怪からみる子育てと人権感覚」

高槻市人権まちづくり協会 10年のあゆみ

当協会は、地域に密着した地域の方々主体の「草の根人権啓発活動」をねらいとしています。活動は中学校区ごとに地区単位会を置き、会員を核として地域の方々の参画のもとで事業を推進しました。

高井 佳子 運営委員長



平成28年「私が女性装をする理由」

1中
単位会

棕木 徳子 運営委員長



平成29年「悩みをお笑いで解決」

2中
単位会

3中
単位会

中島 芳子 運営委員長



平成28年東日本震災被災松
「奇跡の一本松のハーモニカ」

茨木 照世 運営委員長



平成29年「みんなで遊★ゆう」

4中
単位会



平成24年「早春ふれあいトーク」

7中
単位会

高田 禎三 運営委員長

平成28年
「自分らしく
生きる」



高尾 明美 運営委員長

8中
単位会



平成29年「おうちごはん」

9中
単位会

田畑 俊治 運営委員長



平成26年「むすびあい 心がかよう 地域の輪」

10中
単位会

猪股 千鶴子 運営委員長



平成28年
「ミニ平和展」



平成26年「人権講演会」

山田 恭平 運営委員長

城南中
単位会



平成28年「平和と人権のつどい」

高槻市人権まっくり協会 10年のあゆみ

芝谷中
単位会

正路 怜子 運営委員長



平成28年 文化祭「手づくり紙芝居」

6中、冠中
単位会



平成29年「未来の子どもへのメッセージ」

(6中) 薙野 長行 運営委員長、(冠中) 宮本 愛 運営委員長



平成29年「合同ミニ平和展」

川西中
単位会

金本 勝年 運営委員長



平成29年 夏祭り啓発パネル展
「知ってほしいLGBTのこと」

藤井 靖雄 運営委員長

如是中
単位会



平成29年 「ある精肉店の話 命をいただき
いのちは生きる」

阿武野
阿武山中
単位会

澤 寿一 運営委員長



平成29年
「羽曳野人権センター
フィールドワーク」

6中、冠中
川西中
単位会



平成30年
三校区合同人権バス研修「さかい利晶の杜」

高槻市人権まちづくり協会

(単位会数、会員数はその年度3月末時点)

2008年(平成20年)度

● 13地区単位会 会員数：300人

2008年4月5日に高槻市総合センターC1401会議室において創設総会が開催され、高槻市人権尊重の社会づくり条例の「市と市民の協働による」確固たる市民組織として高槻市人権まちづくり協会が創設されました。

代表理事に5団体を代表して藪重彦さんが就任されました。事務所は本局を市役所8階に、分局は富田、春日両ふれあい文化センター内におかれました。



平成20年設立総会

2009年(平成21年)度

● 13地区単位会 会員数：1,020人

4月1日に法人格を取得、一般社団法人高槻市人権まちづくり協会が誕生しました。

4月の理事会で副代表理事に川崎昭博さんが就任されました。

自主事業として特定非営利活動法人「アジア子ども支援フジワーク基金」からの業務委託を受け児童養護施設等（聖ヨハネ学園、奈佐原寮）の子ども達を対象に自然体験活動を通じて子どもたちの対人間関係形成力や自己肯定感を育むプログラムと、次世代の育成を目的にスタッフ研修を実施しました。



自然体験活動

2010年(平成22年)度

● 14地区単位会 会員数：1,154人

事務所を市役所の横、エムビルに移転しました。

11月に川西中学校区地区単位会が発足しました。

初めて人権週間記念事業を福祉展と共同で開催されました。人権教育の普及と推進を図るため、富田小学校と協働し地域学習づくりプロジェクトを実施。また若松小学校と西大冠小学校の部落問題学習への支援や講師派遣を行いました。



福祉展と共同開催された人権週間記念事業

2011年(平成23年)度

● 14地区単位会 会員数：1,385人

大阪府人権協会、愛ネット大阪に加入し、より広域的な情報の収集につとめました。

自主事業で富田フィールドワークを実施、他市から高校生研修や、関西大学留学生、人権問題企業連絡会や学校職員研修の場として受け入れ、また連続講座「富田ものがたり」を実施し、富田について知識を深める講座を実施しました。

春日地域では子ども育成セミナーの連続講座「アートフルタウンプロジェクト」を実施し、安全、安心のまちづくりをテーマに地域の子ども、大人、学校が一体となりました。



「地域をもっと好きになる」城南中学校地区アートフルタウンでの公園清掃

2012年(平成24年)度

● 14地区単位会 会員数：1,566人

従来の富田フィールドワークや、連続講座「富田ものがたり」、人権リーダーの育成に加え、地域における課題やこれまでの歴史をあらたに研修し、職務に活かすことを目的として春日地域で新転任者研修が行われました。富田、春日の分局が3月で廃止されました。



富田ものがたり

事業チームの紹介

司会や受付などまちづくり協会の事業のサポートをしています。



左から青田、柏木、猪股、入江、植村

年をふりかえって

2013年(平成25年)度

協会のブログを立ち上げました。
広島平和記念公園への平和学習の機会を広げるために社員17名で研修を行いました。



平和展の折り鶴を奉納(数顧問)



地下レストハウスにて檀上講師を中心に

14地区単位会 会員数：1,632人

2014年(平成26年)度

富田、春日両ふれあい文化センターの一部委託を受けました。地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、多種多様な人権課題解決のため相談等各種事業を総合的に行うという国と市の方針を受け、今まで培ってきた市民とのかかわりを活かし、周辺地域の諸団体と連携し、人権パネル展や情報発信事業(棧・センター通信)や相談事業を行いました。

14地区単位会 会員数：1,689人

2015年(平成27年)度

5月の理事会にて代表理事である数重彦さんが退任され、新代表に井出正夫さんが就任されました。数さんは協会顧問に、新たに常務理事に菅井忠芳さんが就任されました。

「協会機関紙アクティブ」を「人権情報誌あくていぶ」に紙面を一新し、表紙は高槻市在住の生地高芳さんの切り絵「わがまち切り絵紀行」で高槻市内の名所を掲載し、好評を得ました。



「あくていぶ62号」は高槻市駅ラピスの泉

14地区単位会 会員数：1,787人

2016年(平成28年)度

3月理事会で副代表理事に堀田年子さんが就任され、8月臨時理事会において常務理事に中小路栄作さんが就任されました。協会ホームページを8月1日から公開しました。これまでのブログとは違い、より多くの情報が見やすくなり、協会の認知度を高めました。

14地区単位会 会員数：1,846人

2017年(平成29年)度

5月の理事会において常務理事に徳田忠昭さんが就任しました。4月に第三中学校区地区単位会が立ち上がりました。

協会Facebookを始め、より多くの情報を発信しました。

Facebookのトップ画面



2018年(平成30年)度

5月の理事会において井出代表理事が退任され、新たに山本政行さんが代表理事に就任されました。本局事務所を市役所の隣のエムビル2階から、高槻市水道部庁舎北側庁舎2階に移転しました。

平成30年度 理事・監事一覧(敬称略)

顧問	数重彦
代表理事	山本 政行
副代表理事	川崎 昭博、堀田 年子
理事	高尾 明美、木村 治夫、茨木 照世 金丸 恒雄、山田 恭平、川辺 美子 五十島順子、田中 之彦
常務理事	徳田 忠昭
監事	渡邊 昇、益谷 重生

広報チームの紹介

人権情報誌「あくていぶ」の編集に携わって十数年。暑い日、また寒い日「あちこち訪問」で方々に出向き、人権施設の紹介をしています。



左から大原、浦野、棕木

2018年 人権講演会「心の豊かさをもとめて」

平成30年6月2日（土）市生涯学習センター多目的ホールにて人権講演会「心の豊かさを求めて」が開催されました。

本年は聴覚障がい乗り越えて活躍されているデフマジシャン・ミスターかわづさんをお招きし、講演とマジックショーを2時間にわたり披露され、楽しいひと時を過ごしました。

障がいを持ちながらも夢をあきらめず努力された技、「聞こえているのでは？」と思えるほどの数々のマジックや、来場された方とコミュニケーションをとられ、息をのむような場面や、鮮やかなショー、素晴らしいパートナーに、会場から割れんばかりの拍手が起こりました。



パートナーとのマジック

平和展「平和な世界を願って」

平成30年8月2日、3日の2日間に渡り、第33回平和展が開催されました。

特別展「いのちについて考える～戦争中の動物たち～」のパネル展と、クイズラリーを開催。また子ども図書コーナーや手作りおもちゃコーナー、折り鶴コーナーを設け、映画会や音楽祭を合わせて約2,000の方が来場されました。



映画会「この世界の片隅に」

— 昭和20年、広島・呉、私はここで生きている —

猛暑の毎日が続く中、たくさんの方がご来場。戦中の広島が舞台で、時代にほんろうされた「すず」という一人の女性の生き方を通して、平和の大切さを教えられた感動のアニメでした。

市内の学校でも上映して、子ども達にもぜひ見てほしい映画です。



©この史代・双葉社/
「この世界の片隅に」制作委員会

ロビーコンサート



NENI'S (おきなわの唄と三線演奏)



～平和の願いをこめて～ 「おきなわの唄と三線は、愛と平和と生活そのものです。日常を心豊かに過ごすことが、平和へとつながります」

NENI'Sさんのお話と演奏は参加者の心を暖かく包み、そして会場が一体となりました。

「万国津梁の歌」の歌詞の一部に「♪戦を好まぬ琉球に 戦の歴史が刻まれた 尊い命が奪われた 無駄にしないでね 過去から未来へ語り継ぐ 平和の願い♪」あらためて沖縄の歴史に思いをはせると共に、この詩の重さを実感しました。

フィナーレは、NENI'Sさんの歌と三線に合わせ参加者の皆さんも唄って踊って心は一つ。平和への願いを強くもったひと時となりました。



特別展 いのちについて考える

戦争は「いのち」を奪います。それは人だけではなく、動物もたくさん命を落としました。今回、天王寺動物園の協力を得て、資料や紙芝居の提供をいただき、自分の身近なところから世代をこえて戦争の悲惨さやいのち・平和の尊さについて学ぶ機会になりました。



戦意高揚に利用されたチンパンジー「リタ」

音楽祭 「愛・いのち・平和」

市内で活躍されているコーラスグループ8団体が参加され、今年も明るく楽しい元気なコーラスが会場に響きました。また、会場と一体となって「手のひらを太陽に」「あの素晴らしい愛をもう一度」「ハッピーバースデーto you」などが歌われ、会場も盛り上がりしました。



音楽祭にて、元気いっぱいの発表の様子

創設10周年記念事業特別講演会

「笑顔でふれあい。人づくり、まちづくり。」

気づけば高まる人権意識～日頃の言葉に少しの気づかい～

日時 2018年10月13日(土) 午後2時～4時

会場 市生涯学習センター 2階 多目的ホール

定員 当日先着 **300人**まで(保育あり)

*当日、ブースで障がい者団体の販売会をおこなっています。
お誘いあわせの上ぜひご来場ください。

入場
無料



講師 落語家 桂 七福さん

手話、要約筆記あり

人権週間記念事業

12月7日(金)、8日(土)に市生涯学習センター1階展示ホールにて人権啓発作品の入選作品を展示します。

また8日(土)午後2時から講演会を開催します。

たくさんのご来場をお待ちしています。

人権週間記念事業 講演会

「性的マイノリティって何？

～楽しく学ぶ、ジェンダー、セクシュアリティ～

入場
無料

講師に弁護士 仲岡 しゅんさんをお迎えします！

「社会の隅っこに置かれた人々の味方になりたい」と弁護士を志し、知的障がい者ヘルパーと学童保育の指導員を経て弁護士に。刑務所での性的少数者への処遇改善などに奔走されています。



日時 12月8日(土) 午後2時から

会場 市生涯学習センター 2階 多目的ホール

定員 当日先着 **300人**まで(保育あり)

手話、要約筆記あり

平成30年度人権週間記念啓発作品展を募集！

21世紀を「人権の世紀」とする取り組みが進められるなかで、市民一人ひとりが人権問題を「自分の問題」として捉え、お互いの人権を尊重し合う高槻市を築いていくことを目的に、平成30年度人権週間記念啓発作品展を実施します。奮ってご応募ください。

1. 募集対象(各部門) ※作品応募は、原則、各部門で一人1点とします。

- ① 標語 未発表・創作・長さ自由
- ② 絵画 ポスターを含む A ⇒ 手書き：未発表・創作・用紙サイズは画用紙四つ切
B ⇒ パソコン：未発表・創作・用紙サイズはA2サイズ以下
- ③ 作文 未発表・400字詰め原稿用紙で4枚以内(読書感想文を含む)

2. 応募資格 市内に居住又は通勤・通学・通園する人

3. 募集作品

主なテーマ
・人権の尊さ ・お互いの人権を守ること ・平和・勇気 ・いじめをなくそう ・差別のないまち
・国際理解 ・多文化共生 ・助け合い ・高齢化社会 ・ノーマライゼーション ・バリアフリー
・LGBTQ(性的マイノリティ)への理解 ※その他人権・平和についてのテーマであれば可

4. 募集期間 平成30(2018)年7月9日(月)～平成30(2018)年10月12日(金) 必着

5. 応募方法 応募作品に、別記様式を切り取り、必要事項を記入のうえ、作品の裏面へ貼付して、応募先へ郵送又は、直接持参してください。

6. 応募先 〒569-0067 高槻市桃園町4-15 高槻市水道部庁舎北側2階 TEL. 072-647-7825 FAX. 072-647-7233 一般社団法人高槻市人権まちづくり協会事務局

2018年人権連続講座のお知らせ

子ども・性・障がい者・外国人・高齢者・同和問題や社会状況にともなう新たな人権課題について考えてみませんか？ 一回だけの参加もOKです。ぜひお越しください。

会場：高槻市総合市民交流センター
(クロスパル高槻 7階第6会議室) にて
時間：午後2時から午後4時まで
定員：先着 各100名

手話通訳

要約筆記

あり

とき	講師	テーマ	講演内容
9/28 金	 NPO法人 多民族共生教育センター 理事 ムン ゴンフィ 文 公輝さん	ヘイトスピーチ 解消法 ～市民と行政の 役割について～	時代を逆行するかのような特定の 人種や民族への「ヘイトスピー チ」はなぜなくなるのか。より 良い多文化共生をめざして私 たちにできることは？
10/5 金	 NPO法人 かかしの会 理事長 こうの いくよ 向野 幾世さん	障がい者の人権 ～みんな同じ空の下 生きている～	お互いを大切にし、助け合いなが らみんなが心地よく暮らすための ヒントをお話しいたします。
10/12 金	 神戸学院大学 人文学部教授 かんばら ふみこ 神原 文子さん	部落差別解消推進法 ～地域のひとり親家庭の 実態からみえるもの～	部落差別が見えにくくなっている 今、ひとり親家庭が置かれている 現状をふまえ、何が必要で、周囲 はどうかかわればよいかについて お話しいたします。
10/19 金	 子どもとネットを考える会 代表 やまくち 山口 あゆみさん	子どもの人権を守る ～SNSトラブルについて～	携帯電話もスマホもPCもなくては ならない今、大人の知らないところ で子ども達のネット環境は拡 がっています。子どもをトラブル から守るには…？
10/26 金	 淀川キリスト教病院 理事長 かしわぎ てつお 柏木 哲夫さん	生と死を学ぶ ～人生の上手な終い方～	死は特別なものではなく日常の延 長線上にあるもの。人は死に臨む とき何を考え、何を思うのか。私 たちが悔いのない人生を送るため のヒントとは…？

**高槻市人権まちづくり協会
事務所移転のお知らせ**



6月より事務所を下記に移転しました。また代表電話、FAX番号も変更しました。

〒569-0067 大阪府高槻市桃園町4番15号 高槻市水道部庁舎北側庁舎2階
電話 072 (647) 7825 FAX 072 (647) 7233

編集後記

“平成”という年号最後の年に…

6月18日に大阪北部地震がおり、2週間後に、西日本豪雨がおそった。

地元高槻や、実家のある広島が被災地となり、帰省中に、ため池決壊危機や、空き家の土砂崩れを身近で見た。そして今夏は、異常気温の猛暑が追い打ちをかけた。

次々とやってくる自然現象の日々、出来事を重ねながら、備えながらの時間の流れに無事を願ってすすす幸せ。平穏で、ふつうに暮らせる日がつづきますように、祈る毎日だ。

編集発行／一般社団法人 高槻市人権まちづくり協会 (☎647-7825)

「あくていぶ」は協会ホームページからご覧になれます。 <https://www.takatsuki-jinmati.org/>

高槻市人権まちづくり協会 



<https://www.facebook.com/takatsuki.jinmati/>